



ニガタ子ども会

No. 119



子どもを地域全体で育む 社会教育団体としての新たな一歩

新潟県子ども会連絡協議会 会長 須田 貴子

日ごろより、子ども会活動にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、急速に進化する情報化社会に、今やスマートフォン等を所持する方は全体の四割にものぼり、その九十四%がコミュニケーションアプリ等を使っているとお聞きします。

近年では、メディア機器の不適正な利用による青少年の犯罪被害や、いじめやプライバシー上の問題等のネットトラブルや長時間利用による生活習慣の乱れなどもあり、多くの問題も引き起こしているようです。

今から四〇年くらい前の一九七〇年代ころから外で遊ぶ子どもの姿が徐々に消え始め、学校が荒れたことなどから、全国的に子ども会等の健全育成に関わる団体がそれを危惧し、設立し始めたとお聞きしています。

遊具のない時代は、頭を使いながら、あるもので遊び、異年齢集団の中で世話をすること、配慮すること、達成感を得ること、挑戦しながら悔しいと思うことなど、たくさんのこ

とを学ぶことができました。また、自分の頭で遊びを作り出すことで創造し、デザインする力を磨き、子どもは、子どもの時代に人生の生きる基本を学ぶとも言われています。

学校では情報モラル教育に取り組んでいただいているようですが、子どもが小中学校にいない大人は、子どもがいらないから関係ない、興味がない、講演会を開いても聞いてほしい保護者は来ない、などの声も同時に聞こえています。メディアに潜む危険性についても、保護者を始めとする大人が知っていなければ、子どもたちを守ることはできません。

未来ある子どもたちが、様々な力たちでネットに触れる環境にあるからこそ、大人がきちんとしたルールを定め、子どもと会話し、温かい目で見守れる環境をつくるのが、大人の役割ではないかと思っております。

このような社会環境が変化する中で、遊びや交流を通した子ども会活動の存在意義が強く求められており、

これからの時代を、子どもたちが心豊かにたくましく生きるためにも、子どもに夢や希望を与え、新しい時代をしなやかに生きる力の育成が不可欠になってきております。

新潟県子連も来年度は創立四十周年を迎えます。同時に、任意団体から一般社団法人へと移行することが決まり、法律に基づいた営利を目的としない社会教育団体として新たな一歩を踏み出します。

子どもたちを守ろうとする大人が繋がり、理念を共有し合い、子どもたちを社会全体で育むことのできる環境づくりに向け、今後も一層のご支援ご協力を宜しくお願い致します。





かわいい子には体験を

子どもの頃の体験は人生の基盤

国立妙高青少年自然の家 主任企画指導専門職 水澤 勝 宏

はじめに

新潟県子ども会連絡協議会の皆様方におかれましては、日頃より国立妙高青少年自然の家をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

今回は、当施設をご利用いただいているある子ども会さんの好事例を紹介させていただきながら、子どもたちとキャンプを実施することについて考えてみたいと思います。

子どもを動かすのは誰か？

自然の家には様々な活動プログラムがあります。その中心となって動くのは誰だと考えますか？

その団体の指導者（大人）は、ジュニア・リーダーの育成をねらい、リーダーを核として子ども集団に決め（考え）させることを基本とした活動を構成していらっしゃいました。

指導者（大人）は、日程案に沿って活動を滞りなく進めるのが最終目的ではなく、そのプログラムを子どもたちにとどのように取り組ませるのかという「キャンプのねらい」や「体験のさせ方」まで考えておられることに、指導者側の深い意図が感じられました。

指導者に求められるいろいろな顔

ここで、自然体験活動指導者の役割について考えてみたいと思います。

「オレについてこい」と、ガキ大将のように子どもの先頭に立ち、活動の面白さを味わわせることも指導者の大切な役割の一つです。ですが、そんなリーダーばかりだったら、子どもたちは受け身になってしまう危険性はないでしょうか？

前述の団体さんのように、大人は一歩引いて、子どもたちが自主的・自発的に活動を創り出していくのを温かく見守る指導者も大切です。

アクティブラーニングの考え方

今、学校教育の世界では、児童生徒の主体的な学習活動に関して、「アクティブラーニング」がキーワードになってきました。文部科学省によると、「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称」と定義されています。

元来、自然の家の活動プログラムは子どもたち主体で活動することも可能なプログラムとなっており、「アク

ティブラーニング」の要素を取り入れた活動も実施が可能です。

しかし、ただ自由に活動させればよいというわけではないのはご存じの通りです。指導者は、参加者の実態やニーズ、活動のねらいを踏まえ、どこまでの活動を任せるのかという「自由度」を意図的に設定することがキャンプのねらい達成に大きく関わってくることとなります。

全てを自由にしてしまえば、それは「放任」です。怪我や事故が発生してしまうことにもなりかねません。同じ活動でも、ねらいや集団が異なれば「体験のさせ方」も当然変わってくるということになります。

このような体験活動の意義

国立青少年教育振興機構では、子どもの頃の体験（自然体験、動植物との関わり、友だちとの遊び、地域活動、家族行事、家事手伝い）によって、得られる資質能力（自尊感情、共感性、意欲関心、規範意識、職業意識、人間関係能力、文化的作法・教養）について調査を行いました。

- ① 子どもの頃の体験が豊富なほど大人になってからのやる気や生き甲斐、モラルや人間関係能力などの資質や能力が高い傾向があること。
- ② 日本の伝統的な作法や教養も、自然体験、動植物との関わり、友だちとの遊び、地域活動、家族行事、家事手伝いなどの子どもの頃の幅広い体験と関係していること。
- ③ 中学生になってもお手伝いや地域活動が効果的なこと。体験が豊富な青少年ほど、道徳観・正義感が強い傾向にあること。体験が多い青少年ほど、自己肯定感が高い傾向にあること。
- ④ 子どもの頃に多くの体験を行ってきた保護者ほど、その子どもも体験を多く行う傾向にあること。また、自己肯定感の高い保護者ほど、その子どもも自己肯定感が高い傾向にあるなど、保護者の体験や意識は、子どもに大きな影響を与えること。

調査結果の詳細に興味関心のある方は、国立妙高青少年自然の家までお問い合わせください。

終わりに

小さい頃に様々な体験を行うことで子どもたちの健やかな成長が期待できます。これも、「子ども会」という団体で行うことに大きな意義があります。さあ！土日は、子ども会で子どもと一緒に「Let's 体験！」

上越地区

年末おたのしみ会に参加して

上越市柿崎区三つ屋浜子供会

三年 小山 晏奈

年まつお楽しみ会で一番楽しかったのは、ガラスシールです。わたしは、ダッフィーとシェリーメイの絵をえらびました。

まず、黒いシエルペンでりんかくをなぞって、かわくのをまっぴから、中の色をぬりました。一番むずかしかったのは、目を全かぬりつぶさないで一カ所だけまるくあけた所です。

作っている時、「どこにはろかなあ。」と、わくわくしていました。きれいに作れたので、まんぞくしました。時間が足りなくて、シェリーメイが作れなかったたので、今度シエルペンを買ってきて、お家で作ってみたいです。次は、ダッフィーとシェリーメイじゃない絵も作ってみたいです。

次に楽しかったのは、「カモン。」という遊びです。ジャンケンでかてるかドキドキしました。まけたらジャンケンした相手のまわりを一しゅうしないといけないので、ジャンケンをかつようにがんばりました。この遊びは、二回しまし



た。一回目は、二位で、二回目は、四位でした。一回目は、二位だったけどうれしかったです。二回目は、四位だったのでくやしかったです。また学校の昼休みに、きていかなかったお友だちにも教えてあげて、学校でまた遊びたいです。

そのつぎに、はんごにわかれて「人間ちえのわ。」というゲームをしました。このゲームは、くびきのジュニアリーダーの人がえらんでくれました。

まずまるくなって、となりのよこにいるお友だちと手をつないで、その円をもとの円にもどすというゲームです。もどったときはうれしかったです。他の学校の友だちができて、うれしかったです。

中越地区

雪合戦大会に参加して

加茂市 岡ノ町育成会

六年 竹内友輝人

岡ノ町育成会で、子どもチームと大人チームが雪合戦大会に参加しました。決められたコートの中に、五人で一チーム、男子は三回当てられたら失格となってコートから出ます。残った人数で勝ち負けが決まります。

ぼくは、三回当たらないようにしようと思いました。でも、試合が始まると何も考えず雪玉を作って相手チームに向かって投げました。皆たくさん投げて、いろいろなところから飛んできて、少しこわかったです。ぼくも当たってしまい、二試合出て、一回失格にな



りました。でも、子どもチームが優勝できてうれしかったです。

楽しかった雪合戦

加茂市 岡ノ町育成会

六年 有本 一輝

ぼくは、雪合戦大会に今までに四回参加しました。雪がなくて体育館でカラーボールを使ってやった時もありました。

今年は雪がつもっていて、外でできました。本物の雪は玉がはやく投げられて楽しかったです。子どものチームとだけじゃなく、大人のチームとも対戦できて楽しかったです。

今年も優勝して、大きなトロフィーをもらって、とてもうれしかったです。そして、最後にトン汁を食べました。おなかがいっぱいになるまで食べて、心も体もポカポカになりました。雪合戦も楽しいし、トン汁はおいしいし、とても楽しかったです。

下越地区

私がこの二日間で
楽しかったこと

燕市分水地区子ども会

六年 山浦 歌姫

私がこの二日間で楽しかったことは
四つあります。

一つ目は、ポイントラリーです。まだあまり知らない仲間たちと協力してポイントの、かんばんを探すのが楽しかったです。みんなで協力したおかげで一位になれてうれしかったです。

二つ目は、キャンプファイヤーです。私はいままでキャンプファイヤーを二度もしたことがなかったので、できてよかったです。それに私たちは火の子や火の長などもやりました。最後のほうには、みんなでクイズやパピブパピブゲームなどをしました。今までやったことがなかったゲームなどをできて楽しかったです。

三つ目は、二日目の野外すいじです。みんなと仲良くカレーをつくれて楽しかったです。

四つ目は、ク
ラフトです。く
ふうして自分だ
けの作品を作る
のが楽しかった
です。

私は今回二度目の参加でした。そして私は、六年生で今回が最後の参加になったので新しい友達を作ったり、今までしたことのない体験などができてよかったです。



子ども自然王国の思い出

燕市分水地区子ども会

六年 相馬さくら

子ども自然王国に、分水の子ども会で行きました。はじめて参加しました。はじめに、バスに乗って柏崎の自然王国にいった、午後にポイントラリーをしました。ポイントが書いてあるカードをさがすものでした。山にも登ったりして、たいへんだったけどとても楽しかったです。みんなと仲良くなれました。そのあと、キャンプファイヤーをしました。私は火の子をしました。きんちょうしけ



と成功したのでよかったです。そのあと班で出しものをしました。私たちは、パピコゲームをしました。ほかの班はイカじゃんけんや、クイズをしました。とても楽しかったです。寝るときには、みんなでしゃべったりしていました。次

佐渡地区

小学校最後の
キャンプに参加して

佐渡地区八幡子供育成会

六年 近藤慎一郎

七月十一日、十二日に八幡育成会キャンプがありました。昨年まではキャンプ場を使用して行っていました。今年は参加者が少数だったため、小学校と公民館を使用して行うことになりました。

一日目はまず、男子はテントをはり、女子は夕食のカレー作りに分かれて作業しました。テントにはいろいろな部品があつてたてる



て遊びました。すごく気持ち良く
て楽しかったです。プールが終わ
ると夕食の時間でした。テール
の上には、カレーライスや焼きソバ
やサザエなど、たくさん料理が
並んでいました。どれもとてもお
いしかったです。食べ終わると今度
は、ビンゴゲームをしました。ビン
ゴになると賞品がもらえました。
ビンゴになるとみんな、「ビンゴ」
と叫んですごく喜んでいました。

次に、肝だめしをしました。い
ろんなお面をかぶった人たちが現
れてとても面白かったです。

ラシオ体操をしました。その時六年生が前に出て体操をすることになったので、じゃんけんをしたら僕になりました。途中で間違っていました。その後朝食を食べ、後始末をして解散しました。

僕にとって小学校最後のキャンプでしたが、とても思い出に残る楽しいキャンプでした。これからこの活動を続けていって欲しいです。

全国子ども会連合会表彰を受賞して

子ども会活動を振り返って



阿賀野市子ども会連絡協議会

顧問 加藤 栄 造

子ども会との関わりは、平成四年小

中学校PTA会長の任務から解放されている矢先のことでした。京ヶ瀬村長・教育長から学校五日制に伴って、京ヶ瀬地区子ども会を発足し、会長として運営して頂きたいというお話がありました。当時は各地域集落の子ども会はテレビゲームが流行する中で、土曜・日曜に屋外の行事を活性化させることから始めました。

私の仕事は行政との関わりの社会団体、PTA、公民館と連携をはかり、活動の和を広げ、育成者、子どもたちの多くの参加を求めることでした。

子ども会組織づくり、育成者の教育安全会、指導者の発掘を求めることなど行政の支援の中で多くの団体と話し合い、衰えた行事の復活、そして、地元地域の伝統行事を大きく活性化させていくことが私の責務でありました。

冬の伝統行事である裸まいりに参加すること。体に身に付けるしめ縄づくりを祖父、親から子どもへと伝えながら、自分のものは自分で準備すること、また、老人、育成者、子どもとのコミュニケーションをとる場の活動などを推進しました。春、早起きサイクリングロード活動を自転車協会の援助のもと

で実施しました。

最初、交通事故等の心配の声もありましたが、「子を離せ、親は目を離すな」ということで育成者も、おにぎりを持参して、多勢参加してくれました。新しい活動を実行するのに、賛成反対の前に、子どもたちのアイデア、創意工夫を生かすアドバイスと場所・施設の提供、指導などに苦心しました。幾度かの積み重ね指導により、行事をやりとげた達成感、子どもたちの喜びは今でも感動として思い出されます。

子ども交歓大会の異年齢集団に溶けこめず、無口だった子どもが、今では活動のスタッフとして協力してくれています。

私は、長年子ども会を維持できたのは行政、社会団体の協力もありますが発足当時の子どもたちが中学校へと進学し、ジュニア・リーダーとなって小学生たちにアドバイスできるリーダーに成長したうれしさがあります。この度、群馬県で全国表彰を受けましたことは、関係各位のご支援によるものと感謝申し上げます。

最後に、県子連役員皆様のご健康とご活躍をお祈り致します。



子ども会活動を振り返って

三和区子ども会連絡協議会

会長 大坪 寛

このたび全子連表彰を受賞できたことは、多くの方々にご指導ご支援のおかげと感じています。深く感謝申し上げます。

今回この表彰式は、五十年記念典という記念すべき大会でした。さらに四十八回関東甲信越静地区育成研究協議会と同時開催でした。時期も十月の第三週の土日で開催されました。会場も群馬県伊香保温泉と近間でした。私にとつては車で行けるとてもラッキーな式典でした。

今回の式典は、記念基調講演に始まり、講演者の汐見 稔幸氏は「クレヨンしんちゃん」は最高の子育ての教科書だ」を本題に自らも三人の子どもとの育児に携わって来た経験から父親の育児参加を呼び掛けていました。表彰式では、一人一人に全子連会長より段上にて賞状を手渡しされました。夕方に成り受賞者を囲む会が始まりました。私が一番楽しみにしていたプログラムでした。情報交換会では美味しい地酒、料理をたらふく味わい胃袋も楽しませて頂きました。参加者の中には、何度か顔を合した仲間もいて数年ぶりの再会もありとても楽しい交換会でした。二日目は、私事で欠席させて頂きました。頭の痛さをこらえつつ車を帰路

に向け走らせました。

今、振り返って見るとこの表彰を受けるには、一人の力では到底出来ないことだと思いました。二十数年前地区の会長に「ちょっと手伝ってくれ」の一言がきっかけでした。区の会長、上子連役員、県子連理事あつという間の二十数年でした、これも会長を初め、役員各位皆様の心暖まるご指導ご鞭撻とお酒があったからだと思っています。私も地元では、「チビ子まつり」「サケのつかみ取り」「ワカサギ釣り」など体験学習を中心に活動を行ってきました。自分が楽しいことは子どもも楽しいはず、信じて自分へのほっぴも兼ねいろうな体験活動を行って来ました。時には、仲間と飲む酒はアイディアの宝箱、活動力となりました。続けて来れたのもこの力が半分はあつたかも。

また、この表彰を機に感謝の気持ちを言葉だけに終わらせず、今後の活動力、行動力につなげて邁進していきたいと思えます。

最後になりますが、県子連と各位の益々の発展とご健康を祈念いたしまして御礼の言葉と感謝の思いとさせて頂きます。本当にありがとうございます。



全子連表彰を受賞して

柿崎子ども会連合会 佐藤 和美

この度は、全国子ども会連合会の表彰をいただき大変光栄に思います。これも、地区子連、県子連の皆様の指導、ご支援のお陰と感じております。

残念ながら、仕事の都合で表彰式に出席することができませんでしたが、今後の活動の励みとさせていただきます。

町内の子ども会行事に、柿崎子ども会のキャンプや歓送迎会などでジュニア・リーダーからお手伝いしてもらい、素晴らしい活動だと感心していました。少しでもジュニア・リーダーにお返ししたいと柿崎子連の仲間入りをさせていただきました。

当時はジュニア・リーダーもそれを支えるスタッフも大勢で、柿崎子連に加盟していない子ども会にも積極的に行事参加を呼びかけキャンプやクリスマス会など大変でしたがその分、楽しい思い出となっています。

最近では、私も職場での立場や他の団体の役員も兼ねている現状で、日曜休みがほとんどなく、柿崎子連の活動にあまり参加できないのが現状です。今回の表彰の打診があった時に本当に自

分が表彰されてよいのか迷いましたが、せっかく柿崎子連や県子連の皆様からの推薦ということで、ありがたうお受けすることにいたしました。

最近では地元子ども会の活動は、子どもの減少と保護者の考え方の変化で、私が活動していたころより随分と縮小しているようです。それに伴い、柿崎子連のジュニア・リーダーの活動も少なくなり、実践よりも他の地区のジュニア・リーダーとの交流や研修が多くなっているようです。また、ジュニア・リーダーも学校を卒業してしまうと会から離れてしまい、継続して育成することも難しくなっています。

私も、後数年で退職となりますので、また一から柿崎子連のお役に立てるよう、今回の表彰を受け、気持ちを新たにいたしました。

今後、新潟県内の子ども会関係者並びに地域の諸先輩方のご指導を受けながら頑張る所存ですのでよろしくお願いいたします。

全子連表彰(団体)を受賞して

黒条夏祭りを振り返って

長岡市黒条連合子ども育成会

会長 吉野 歩

毎年、夏休みに行われる黒条連合子ども会主催の夏まつり。朝七時からの開催だというのに、約四百人もの児童、幼児、保護者が参加してくれました。

朝早く集まるのには理由があつて元々は『マンモスラジオ体操』という名前前で、みんなでラジオ体操をしようというのが目的の行事でした。それが回を重ね、せっかく集まるのだから何か楽しい事をしようという形を変え、今の夏祭りへと変化して受け継がれてきました。

このまつりの主催者である連合子ども会、黒条地区の各町内の代表児童で結成されており、それぞれの町内より代表の保護者が一名育成会メンバーとして、サポートにつきます。企画運営は全て子ども達が行います。



今年度は、ラジオ体操の後、バームクーヘン食い競争、障害物競争、ビンゴの三つのゲームを行いました。三グループに別れ、ゲームの内容を考えていくのですが、何しろ参加人数が多い上、年齢の幅も広く、みんなが安全に楽しめる内容を考えるのはとても難しかったです。

昨年までは一人の参加者として、夏まつりを楽しんだ子ども達が今度は、

楽しませる側として「どうやったらみんなが楽しく参加できるだろう」という共通の目的に向かって頑張る姿は本当に頼もしいものでした。

私たち育成会メンバーは、サポート役としてフォローしたわけですが、これがなかなか難しく、子どもたちの意見を尊重し、任せるという共通の認識はあるものの、どこまでがサポートでどこからが指示になってしまうのかという葛藤の中、お互いに頭を悩ませながら関わっていました。

当日は、司会進行から用具の準備設置まで全て子どもたちの手で進めます。事前リハーサルではうまくいかず心配しましたが、本番になると、とても生き生きとした表情で運営にあたる子どもたち、そしてそのやる気が反映されたかのように夏まつりも大成功でした。この日の、達成感に満ち溢れた子どもたちの顔は今でも忘れられません。こうした子どもたちの活躍により、今回、全国表彰を頂けた事を、大変光栄に思います。ありがたうございました。そして、黒条夏まつりがこの思いと共に、また次の世代へと受け継がれ、子どもたちの笑顔と自信につながっていく事を心より願っております。

地区別「子ども交歓大会」のようす

<下越地区>

- ・期 日：平成27年10月25日（日）
- ・会 場：五頭連峰少年自然の家
- ・参加者：子ども11人 大人8人 合計19人
- ・活動内容
 - ・炊飯活動（空き缶でご飯を炊こう）
 - ・レクリエーション（ラダーゲッター・クップ・マンカラ・スラッグライン）
- ・感想
 - ・空き缶でご飯を炊いて、災害時に対応できる防災食の作り方を学んだ。
 - ・レクリエーションを通して、他の地域の子ども達と交流し、人とのかわりあい方を学んだ。



<上越地区>

- ・期 日：平成27年11月7日（土）～8日（日）
- ・会 場：国立妙高青少年自然の家
- ・参加者：小学生6人 J L 10人 大人7人 合計23人
- ・活動内容
 - 仲間づくり、レクリエーション、クラフト、キャンドルセレモニー、野外炊飯等
- ・感想
 - ジュニア・リーダーは元気に楽しく、安全に気を配りながら、自分たちが作成したプログラムをしっかりと実施していました。
 - ※この活動は、上越地区のJ Lが参加しています。自分たちでプログラムを作成します。9月と10月の2か月間で4回の集まりの中で行います。

<佐渡地区>

- ・期 日：①平成27年8月1日、2日、8日、9日
②平成27年11月28日（土）
③平成27年12月6日（日）
- ・会 場：①八幡地区集落センター
②サンテラ佐渡スーパーアリーナ
③アミューズメント佐渡
- ・参加者：小学生295人 大人175人 合計470人
- ・活動内容
 - ①夏休み親子工作教室
 - ・ジュースのペットボトルを使い、地元出身の講師を招き、親子での工作を行う。
 - ②第4回なわとび大会
 - ・大なわとび大会を開催し、子ども12チーム150名が参加、保護者2チームも参加、この機会にK Y T講習会も実施した。
 - ③親子ふれあい講演会
 - ・宇宙飛行士の仕事について宇宙フォーラムから講師を招き、親子対象の講演会を開催した。
- ・感想
 - 親子のふれあいや大人も一緒に楽しめることを意識した事業を企画し、2つの新規事業を実施することができた。

<中越地区>

- ・期 日：平成27年11月23日（月）
- ・会 場：加茂市民体育館
- ・参加者：幼児35人 小学生113人 中学生10人 J L 8人 大人80人 合計246人
- ・活動内容
 - ソフトドッチボール大会
 - ・加茂市育団連ルールのソフトドッチボール大会で、スポーツを通じ、親子のふれあい、地区育成会間の交流・親睦を深めることを目的とする。大会途中には、低学年対象のゲームも実施した。
- ・感想
 - 長岡市子連、柏崎市子連の参加があり、大会を通して交流が深められた。10チームの参加となり、大会も大変盛り上がった。



県子連第二回J R中級研修会

期日 十月三十一日(土)

十一月一日(日)

会場 国立妙高青少年自然の家

中級研修会に参加して

頸城ジュニア・リーダークラブ

中学二年 山田 愛美

私は今回、初めての中級研修会でした。最初は何をやるのかあまり分からなかったのですが、不安がありました。でも、他の地区のジュニア・リーダーの人が話しかけてくれ、そんなに緊張せず意欲的に話し合い活動などにも参加できました。この研修会ではたくさんの事を学びました。その中でも一番印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、KYTです。KYTでは、きけんな所をどうやって的確に知らせるのかを

班一人一人が意見を言い合い、みんなで発表しました。私も危ないと思ったら人に知らせたいです。



す。レクリエーション活動では、各班で、いくつかの意見を出し、夜に全員でレクリエーション活動の進め方を学びながら、楽しみました。みんなが仲良くなれました。これらの活動は様々な場でも活かせるので活用していきたいです。

中級研修会で学んだこと

頸城ジュニア・リーダークラブ

中学一年 水澤 葵

私は、今回が初めての中級研修会でした。私は中級研修会で、学べた事が二つあります。

一つ目は、仲間作りです。私は、なかなか他の人達と意見を言い合う事が出来ませんでした。時間がたつうちに、皆と仲良くでき積極的に行動が出来るようになったりしました。



二つ目は、KYTです。最初は、ポスターにどの子が危険か、何が危険か等をまとめ

ら、どうすればその子達を安全に遊ばせられるかなどを考えました。特に、安全に遊ばせるには、どうすればいいかなどが、大変でした。ですが、私達ジュニア・リーダーは、そこがとても重要なので、班の皆で一生懸命考えました。

中級研修での有意義な時間

妙高市ジュニア・リーダークラブ

中学三年 寺島有希菜

私は、今回の中級研修が初めてでした。どんな事をするのか詳細は分からなかったのですが、当日になって行ってみると、他の地域のジュニア・リーダーとの交流はとても楽しく、講座などもとても有意義な時間を過ごすことができました。

私が今回の研修で、特に学んだことは、KYTでできて良かったと思ったのは、KYTトレーニングです。普段の活動でもよく行いますが、今回の研修でKYTの事をより深く知ることがで



き、KYTを行う事の重要性なども改めて知る事ができました。子どもたちの楽しい活動は安全で怪我なく行う事からだと思うので、研修で学んだ事を今後の活動に活かしていきたいと思っています。

今回の研修会で学ぶことができた事はKYTだけではなく、ジュニア・リーダーとしての心構えや、子ども会での活動を活性化させる為の創作活動やレクリエーションなどを講師の先生方だけではなく、他の地域のジュニア・リーダーからも学ぶことができることです。今までの活動をふり返り、これからの活動をより良くするためにどうしたらよいのかをよく考えなおす、良いきっかけとなり、とても有意義な研修会でした。

中級研修会に参加して

妙高市ジュニア・リーダークラブ

中学三年 鈴木 佑奈

私は、今回中級研修会に初めて参加しました。最高学年ということもあり、不安ばかりでした。でも、みんな優しくだったので、研修



に集中することができました。

今までにも、キャンプやレクなどをしたことはありましたが、一つ一つ講義を受けるのは初めてで、多くのことを学びました。特に「子ども会活動の進め方について」の講義の時にプログラムの必要性などを考えたり発言したりして、今までは「プログラム」に視点を置いて考えることはしてこなかったため、新しい発見がありました。それと、話し合いを進めていく上で、自分たちが普段行っている定例会での話し合いが、いかに段取りが悪く、とても発言しやすい状況とは言えないことが分かりました。

それと、キャンプなどを子どもと

やる時は危険がいっぱいで、でも私たちは子どもたちがケガをしないように危険なところを教えてあげたり分かってもらったりしなくてはいいけない立場なんだと分かりました。どんなに子どもたちと楽しく遊んでいても、危険はどこにひそんでいるのか分からないので、つねに危険を予知して対応していかななくてはならないということも学びました。

今回、シニアリーダーとしての自覚とか、活動していく上で注意をはらわなくてはならないところを学んだので、これを生かしてこれから活動をより安全により楽しく、活動の幅をもっともって広げていきたいです。

全国子ども会 シニアリーダー研修会

期日 十月十九日(土)～二十日(日)
会場 国立オリンピック
記念青少年総合センター

シニアリーダーの役割

南魚沼市シニアリーダー

大学生 秋山 彩風

シニアリーダー研修会に参加して学んだことが二つあります。

一つは、シニアリーダーとは、シニアリーダーの役割とは、レクリエーションとは、子ども会活動とは、などなど考えもせずにはやってきたことを考える機会になりました。なぜ外での活動ができるというのに、思い出作りにして、野外炊事として、自然の中で四時間ほど、ご飯の中でも一番大変なカレー作りをしなければなら



もう一つは、討論して考えて討論しつくす、そのことを知ったことです。自分の気持ちを全部出さずに、安全策とか打策とかと意味のないことばかり考

のが。なぜキャンプファイヤーの時には火の周りを踊るのかというような、そんな当たり前に行われていたからそうゆうものだろうと思っていたことが、そうではないのだと気付けたことが一番の勉強になったと思います。そして、その理由も知り、すべてがひっくり返させられた、そんな衝撃を受けました。



るのが今まででした。しかし、完全に同じ方向に向かっていくグループの人と討論して、言いたいことを遠慮なく言えて、それで納得のできるというのは、すごく楽しく、班の意識も仲間意識もまとまりも高くなるのだとわかりました。

神谷先生のワークシヨップの時、「シニアリーダーの役割」という題で討論しました。私たちの班では、シニアリーダーや子どもたちだけに限らず、地域の人たちにも魅力的にみられて信用してもらうことが最初にくると考え、「笑顔であいさつすること」



がシニアリーダーの役割であると結論に達しました。地域の人たちへの理解度も認知度も少ないのだとは理解しています。少しずつでも、知っていきたく思います。そして、最終的には地域の人たちがシニアリーダーやシニアリーダーを知らない人がいない地域にしていきたいと思っています。

平成28年度 第41回新潟県子ども会連絡協議会総会案内

I 総会について

期 日 平成28年5月15日(日)
時 間 13時30分～16時00分
会 場 新発田市生涯学習センター
TEL 0254-26-7191

II 遊びの広場

主 催 新潟県子ども会連絡協議会
共 催 新発田市子ども会連絡協議会
日 程 受 付 12時30分～13時30分
遊びの広場 12時30分～15時30分

<開会式次第>

- 1 開会のあいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 表 彰 県子連表彰
 - (1) 指導者・育成者
 - (2) ジュニア・リーダー
 - (3) 子ども会
- 4 祝 辞 県生涯学習推進課長
新発田市長
- 5 来賓紹介
- 6 謝 辞 表彰者の代表
- 7 閉会のあいさつ
= 休憩 =

H27年度総会 開会式



平成27年度 <遊びのひろばのスナップ>



<総会次第>

- 1 開会のあいさつ
- 2 議長選出
- 3 議長あいさつ
- 4 議 事
 - (1) 平成27年度会務並びに事業報告について
 - (2) 平成27年度会計決算報告及び監査報告について
 - (3) 平成28年度事業計画(案)について
 - (4) 平成28年度予算〈通常・安全共済会〉(案)について
 - (5) 平成28年度県子連理事選出等について
 - (6) 県子連創立40周年記念事業について
 - (7) その他
- 5 議長退任
- 6 次期開催地子連会長あいさつ
(上越地区)
- 7 閉会のあいさつ



弥彦村弥彦体育館にて



南魚沼市湯沢公民館にて

平成28年度 新潟県少年自然の家 イベント一覧

新潟県少年自然の家
〒959-2602 胎内市乙字大日裏
TEL 0254 (46) 2224
FAX 0254 (46) 3070
<http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>



イベント名	期 日	内 容	会 場	募 集 人 員
自然・ふれあい！ 家族のつどい！	1 8/27・28 (土・日) 1泊2日	カヌー・釣り 野外炊さん	新潟県少年自然の家	各回とも 小・中学生含む 家族25組 (70名程度)
	2 12/3・4 (土・日) 1泊2日	クリスマス料理作り 自然素材クラフト		
チャレンジ！ わんぱく！	1 7/30・31 (土・日) 1泊2日	カヌー 野外炊さん		県 内 小学4～6年生 68名
	2 10/1・2 (土・日) 1泊2日	登山 野外炊さん		
	3 1/28・29 (土・日) 1泊2日	スキー、もちつき 伝統的行事		
指導者スキルアップセミナー	11/5・6 (土・日) 1泊2日	レクリエーションや野外 活動の技能講習		少年団体指導者 50名程度
家族でカヌーに親しもう！	8/11 (木)午前・午後	カヌー体験 (小4以上)	胎内川	家族参加で30名

平成28年度 新潟県立こども自然王国

新潟県立こども自然王国は、遊ぶ・学ぶ・泊まるが
1つになった柏崎市高柳町にある宿泊型（B型）の大
型児童館です。



新潟県立こども自然王国
〒945-1505
新潟県 柏崎市高柳町高尾30-33
TEL：0257-41-3355
FAX：0257-41-3515
<http://www.garuru-kururu.jp>



イベント名	期 日	内 容	対象・定員	料 金
春の恵みでピザ作り	5月8日 (日)	山菜と米粉を使ったオリジナルピザ作り	5歳以上の親子 定員：30名	幼児 ……1000円 小学生…1200円 大人 ……1500円
田植えどろんこ体験	5月29日 (日)	王国田でどろんこになりながら田植え 体験。昼食&入浴付き	3歳以上 定員：30名	幼児 ……1000円 小学生…1200円 大人 ……1500円
水遊び体験	7月10日 (日)	おもいっきり水遊びをしてみよう！ 入浴付き	小学生以上 定員：30名	小学生…1000円 大人…1200円
カヌー祭り	8月28日 (日)	鯖石川ダム湖をカヌーで探検しよう！ 昼食&入浴付き	小学4年生以上	小学生…3500円 中学以上…4000円
稲刈体験	9月25日 (日)	王国の田んぼに実った稲を手で刈り取る 収穫体験！昼食&入浴付き	3歳以上 定員：30名	幼児 ……1000円 小学生…1200円 大人 ……1500円
王国秋祭	10月10日 (月)	美味しい&楽しい屋台が大集合！		入場無料 体験料100円～
クリスマスコンサート& お楽しみ会	12月18日 (日)	心温まるハートフルコンサート。 ランチとのセットもあります。	3歳以上	1人500円
スキー場感謝祭	3月12日 (日)	チューブボブスレー、宝探し、もちつき など、高柳ガルルススキー場にて開催		入場無料 体験200円～

平成28年度 市区町村別加入状況一覧表

(H28. 3. 7現在)

上越地区⑫ 2市

	市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1	上越市	88	4,713	593		5,394	2,016	2,016	7,410	152
2	(安塚)	1	66	40	0	107	32	32	139	4
3	(大島)	3	40	30		73	76	76	149	11
4	(大潟)	8	231	42	0	281	98	98	379	4
5	(板倉)	43	267	33	3	346	271	271	617	10
6	(吉川)	7	77			84	80	80	164	4
7	(柿崎)	6	65	24	4	99	74	74	173	4
8	(三和)	2	55			57	60	60	117	6
9	(頸城)	10	413	55		478	359	359	837	11
10	(名立)		89	36		125	93	93	218	7
11	(清里)	26	163	1		190	128	128	318	14
12	妙高市	25	510	52	4	591	341	341	932	21
地区合計		219	6,689	906	11	7,825	3,628	3,628	11,453	248

下越地区⑦ 5市 1村

	市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1	新潟市	311	7,299	205	4	7,819	2,756	2,756	10,575	272
2	新発田市	41	1,584	122		1,747	535	535	2,282	45
3	阿賀野市	28	307	15		350	193	193	543	18
4	胎内市	89	935			1,024	668	668	1,692	53
5	弥彦村	6	447	7		460	197	197	657	17
6	燕市(吉田)	32	672	0	1	705	379	379	1,084	23
7	(分水)	67	186			253	242	242	495	12
地区合計		574	11,430	349	5	12,358	4,970	4,970	17,328	440

佐渡地区① 1市

	市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1	佐渡市	178	1,787	509	106	2,580	879	879	3,459	140
	両津	14	439	20	9	482	226	226	708	43
	佐和田	5	79			84	20	20	104	3
	金井	1	341	169		511	109	109	620	14
	新穂		158	99		257	57	57	314	16
	羽茂		67	13		80	24	24	104	5
	赤泊	16	89	14	12	131	66	66	197	10
	相川	61	140	64	52	317	77	77	394	12
	真野	25	236	55		316	167	167	483	16
	畑野	25	173	26		224	55	55	279	6
	小木	31	65	49	33	178	78	78	256	15
地区合計		178	1,787	509	106	2,580	879	879	3,459	140

中越地区⑪ 8市

	市町村名	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
1	長岡市	613	9,295	206	17	10,131	7,020	7,020	17,151	379
2	(中之島)	6	489	14		509	193	193	702	31
3	(小国)	22	180	84		286	259	259	545	20
4	柏崎市	70	3,494	103		3,667	1,518	1,518	5,185	135
5	見附市	204	1,858	64	11	2,137	2,113	2,113	4,250	100
6	加茂市	155	633	301	73	1,162	1,480	1,480	2,642	32
7	十日町市	51	578	19		648	434	434	1,082	39
8	三条市	12	269	16	4	301	150	150	451	6
9	南魚沼市	65	604	65	11	745	543	543	1,288	29
10	魚沼市(小出)	3	151	0	0	154	33	33	187	4
11	(湯之谷)					0		0	0	
地区合計		1,201	17,551	872	116	19,740	13,743	13,743	33,483	775

1	県子連					0	34	34	34	1
---	-----	--	--	--	--	---	----	----	----	---

	幼	小	中	高	子ども計	育成者	大人計	合計	団体数
総合計	2,172	37,457	2,636	238	42,503	23,254	23,254	65,757	1,604

県子ども会連絡協議会 E-Mail n-kodomo@sage.ocn.ne.jp

編集発行 新潟県子ども会連絡協議会
 全子連安全会新潟県支部
 〒九五一八一一三
 新潟市中央区白山浦一三〇〇
 電話 〇五一一三〇一五九八
 FAX 〇五一一三〇一五九二

〇すっかり春の陽さしになってきました。
 草木も芽を出し、子どもたちも元気に
 新学期を迎えます。
 〇県子連も四月から一般社団法人として
 スタートします。
 また、十一月には創立四十周年記念事
 業が予定されています。
 関係者の皆様と力を合わせて推進した
 と思います。
 〇県子連だよりの原稿をお寄せください
 ました皆様に御礼申し上げます。
 (文責：板垣)

あ
と
が
き

◆ 当面の予定 ◆

- ・4月15日(金) 全子連事務担当者会議(全子連)
- ・5月15日(日) 県子連総会・遊びのひろば
(新発田市生涯学習センター)
- ・5月30日(月) 全子連定例総会
(オリンピック記念総合センター)
- ・6月5日(日) 県子連第1回理事会
(新潟市大畑少年センター)
- ・6月10日(金) 県子連だより第120号発行
- ・6月12日(日)～13日(月)
関プロ子ども会総会(茨城県水戸市)
- ・6月19日(日) 第2回遊びのひろば(小千谷市)
- ・7月2日(土)～3日(日)
第1回JL中級研修会(妙高自然の家)